

## 【報告】 犬山市高齢者移動支援事業の進捗状況について

### 1. 実証実験について

◆実施地区：入鹿地区（池野小学校区）

◆実施時期：令和4年2月～3月

◆内 容：犬山市社会福祉協議会が提供する車両・ドライバーにより、毎週木曜日の午前中に自宅からヨシヅヤ犬山店への往復送迎を実施

◆結 果：実人数3人 延べ人数14人（令和4年3月3日までの5回分）

性 別		年 齢		市街地までの主な移動手段	
男	0人	70代	1人	普通自動車	1人
女	3人	80代	2人	原動機付自転車	1人
				わん丸君バス	1人

#### ◆まとめ

- ・独居高齢者にとっては、事業の利用が他者と交流する機会にもなっている。
- ・自ら選択し決定することは社会福祉の領域で「自己決定」と表現されて重視されている。
- ・主体的に社会と関わる機会の提供は介護予防にもつながることから、継続的な機会の提供が求められる。
- ・他の地区では、地域の中で高齢者が集まる場（グラウンドゴルフや喫茶店など）に行く手段がなくなったことから、外出の機会を喪失してしまったという声も聞く。

#### ◆次年度の実証実験について

- ・高齢者の移動手段の選択肢を増やすことで気軽に外出できる環境を整備するためには、多様な主体の参画が求められる。介護保険法に規定される「介護予防・日常生活支援総合事業」で補助等の仕組みを活用できないかを検証するために4月～9月までを目途に実証実験を想定。